



設立五十周年に向けたスタートの年

一般社団法人日本ヒーブ協議会

代表理事

梶原織梨江氏

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

当協議会は、一九七八年より「生活者と企業のパイプ役」として活動を続け、設立四十周年を迎えました。

一 昨年のシンポジウム「二十一世紀の消費社会と男女共同参画を

ふり返る」に続き、昨年九月には、

四十周年記念シンポジウム

「Design the Future ～生活者と企業のこれからを描く～」を開催しました。

また、これまでの社会環境変化とヒーブの活動を振り返り、十年後の将来に向けた提言を記念誌と

して発行しました。

これら二年間にわたる四十周年記念事業を通じ、ヒーブがさらに進化していく必要性を実感しています。

今年度は、「次世代へつなぐ、これからのヒーブ～生活者視点と多様性を企業で発揮する～」をテーマに、「ヒーブの強みである生活者視点、そして会員一人ひとりの多様性から生まれる相乗効果を企業活動へ還元することを通じ、社会へ貢献することを目指します。

四十周年の節目に再認識したヒーブの強みを活かし、消費者・企業・行政のより良い関係構築に向けた活動ならびに発信を目指してまいります。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

